

令和7年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 港北国際交流の会

1 事業の成果

令和7年度「港北国際交流の会」は、5年毎のプロポーザルが承認され、港北区からの業務委託受託者として特定されました。これにより港北国際交流の会として委託事業並びに自主事業を実施しました。令和7年度3月末現在その活動会員数は222名（休会21名）となり組織的運営を行っています。まずは日ごろよりボランティアの方々の熱意ある献身的な活動に対し改めて感謝申し上げます。

現在、在住外国人の方は今年度も顕著に増加しています。令和7年度3月末現在、横浜市全体で140,467人、港北区は9,900人となり、市内5番目の多さです。また、当ラウンジの外国人来館者も増加し、全体で6.6%アップの8,013人となりました。特に日本語教室では世界52の国と地域から来日され、日本語教室やニューカマー子どもの教室、又各種イベントなどに参加されています。

そのような状況にあって、在住外国人も日本人も同様に一般住民生活者であり「多文化共生」を推進する拠点である「港北国際交流ラウンジ」の役割は一層重要になってきました。在住外国人支援を実践していく上でも、多面的且つ有機的に各事業を組み合わせ、行政関連機関、地域コミュニティ、学校（小～大学）等との「連携・協働」をし、更には在住外国人の活動参画、やさしい日本語の普及も重要な要素として行ってきました。

「多文化共生」に関心を持つ大学生、高校生ボランティア団体「Youth 国際なんでも教室」も外国につながる子どもたちへのサポートを主体的に活動し、着実に定着し評価をいただいています。

25周年記念事業は港北区の企画事業に参画させていただき「地域学講座」という形で実現できたことは、行政機関との連携という意味合い、並びに広報としても、ラウンジの活動を知ってもらう良い機会となりました。

行事の大きな柱として大豆戸地域ケアプラザとの協働企画「ワクワクまつり」には全体来場人数は約1,300名で、外国人来場者は把握人数で140名となり、賑わいを呈しました。

「ワクワクまつり」に併せて、「ボランティア20年・10年永年活動表彰」の記念式典を一堂に会して行い、竹下港北区長からもご祝辞のメッセージをいただき表彰式を行いました。20年表彰者1名、10年表彰者10名の計11名の方々が各部会で20年間並びに10年間の長

期に亘り継続して活動していただきました。ここに改めて長年の献身的な貢献に敬意を表し、感謝申し上げます。

今年度は、かねてからの課題であった会員組織改革を実施しました。令和7年度より「NPO 法人港北国際交流の会」は会員制度を大幅に改訂しました。会員の皆さまに於かれましては運用にあたりご理解いただきこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

2 事業内容

＜年度利用人数＞は22,818人（前年22,456人・101.6%）でした。その内外国人利用者は8,013人（前年7,520人・106.6%）、日本人利用者は14,805人（前年14,936人・99.1%）となりました。

＜窓口での相談案件＞（来館及び電話等）は件数ベースで、外国人399件（前年405件99%）、日本人395件（前年432件91%）です。合計794件（前年837件95%）でした。

＜多言語情報提供、相談業務＞としては英語、中国語、ベトナム語、韓国語の4か国語でまた、やさしい日本語で在住外国人の方々の生活及びその他相談への情報提供、支援を行い、それ以外の言語についてはYOKE「横浜市多文化共生総合相談センター」との提携により800件の通訳相談対応を行いました。

＜人材の育成＞では窓口サービス向上のため相談対応力の育成、ITリテラシー研修などを計2回実施しました。

＜市民通訳ボランティア（市ボラ）・語学ボランティア（語ボラ）＞通訳派遣は小学校、中学校、区役所などからの通訳依頼が増加し、市ボラは176件（前年171件・103%、前々年132件・133%）の実績です。語ボラは39件（前年37件・105%、前々年37件・105%）の実績です。上記以外に、マッチングができなかった派遣依頼が、市ボラで7件、語ボラで10件ありました。

語ボラ登録者を対象に情報交換、研修を目的とした座談会を開催し22名参加を頂きました。

＜日本語教室の授業回数＞は、合計338日（前年339日）で着実に開講し世界52の国と地域から延べ6,250人（前年5,620人・111%、前々年6,929人・90%）の外国人が参加し、延べ4,664人（前年4,933人）のボランティアが熱心に日本語学習支援を行いました。

＜日本語ボランティア養成講座＞は最終的に25の方が全5回受講修了され4月より活動する予定です。

＜日本語ブラッシュアップ講座＞はボランティアを対象に2回実施し延べ66名が参加し日本語学習支援、指導向上を図っています。

日本語専門教室（N1, N2, N3）は開講して13年目となりますが、7月を以て中止することになりました。講師の方々に於かれましては長年のご尽力に感謝申し上げます。

＜日本語教室クラス代表者会＞は情報交換、課題共有などのために各クラス代表者による連絡会を10回開催し各20名が参加しました。

＜ニューカマー子どもの教室＞では、漢字や計算等基礎学習の充実、高校受験対策強化、学校や保護者との連携等を重点目標として、平均19人のボランティアが毎週土曜日に日本語を母語としない児童生徒平均16人に対して39回学習支援を行ってきました。なかでも、中学3年生対象に高校受験対策を行い、本年度3人が受験し、全員合格しました。

＜多言語理解講座＞は地域住民を対象とし、言語を通じ外国の文化、習慣などを学ぶため通年6講座（英会話初級2クラス、中級1クラス、フランス語、イタリア語、スペイン語）と短期講座1講座（夏休み小学生英会話教室）を行い全授業回数198回+5回、167人の方が受講しました。

＜国際交流イベント＞として5回実施。「沈琳の奏でる二胡の世界」、「津軽三味線と書道の競演」、「日本の伝統文化（包む、結ぶ）に触れる体験」各1回、「KENDAMA」を開催し延べ242人の参加がありました。日本の伝統文化を楽しむ華道、書道、茶道の教室は華道3回、茶道3回、書道3回、計9回実施し、延べ73名（内外国人41名）の参加がありました。

＜国際理解教室＞は、外国人日本語学習者、外国人スタッフ、外国人地域住民などが講師となって「ハローワールド」として、多文化共生と異文化理解を考えるイベント、「もっと知ろう！フラメンコ」、「韓国の夏の思い出」、「ミャンマーを知りたい」、「ドイツのクリスマス」、「アフリカンミュージックライブ」、「ルーマニアってどんな国」を計6回行い、延べ137人の参加がありました。

また、外国人日本語学習者と窓口スタッフが講師となって小学生のための国際理解教室を1回実施し、12名の参加がありました。さらに、近隣の小学校での国際授業への協力として綱島、菊名小学校に出張授業を行いました。

学校からの中学生職場体験なども積極的に受け入れ、1校3名参加しました。

＜やさしい日本語の普及＞を夏休み、冬休み宿題教室の学生、港北地域学講座、中学校の職場体験の各実施機会に普及活動しました。

＜Youth 国際なんでも教室＞は外国に繋がる子どもたちに勉強を教え、且つ居場所づくり

を目指し、一方、多文化共生について考え実践する機会の提供という視点からも、大学生、高校生ボランティアによる「夏休み、冬休み宿題教室」、「にちよう教室」を実施。夏休み3回、冬休み2回、にちよう教室16回開催し、延べ学生68人、生徒44名の参加があり、大変有意義な時間となりました。

＜外国に繋がる子どもと保護者対象相談会＞では来年度入学予定の家族等、日本の小学校について案内をし、26名が参加しました。

＜多文化ママカフェ＞は、日本で子育て中の外国人親子が気軽に集まり、日本語、英語、中国語等で悩みの相談や、時宜を得た話題等を提供したり交流を図ることを目的に開催し、計22回各平均6組の参加者がありました。

＜情報広報活動＞として多文化共生の観点から、地域住民にラウンジの存在をPRするとともに、継続的により広くラウンジの活動を理解していただくことに努めています。

- ・広報誌「そよ風」を年5回発行し最終は148号です。日本語を学習する外国人やボランティアの活動などを紹介し、互いの文化を理解するために役立つ情報を発信しました。
- ・ホームページ、Facebook等SNSを活用しイベントのお知らせや実施状況などタイムリーな情報をスタッフが掲載し、ホームページでは日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語で対応。またインスタグラムも導入し全体で合計520回更新しました。

＜在住外国人への防災関連事業＞として日本語クラス学習者中心に区役所防災担当による講演を開催し、計3回、延べ60人の参加がありました。また、そよ風に防災特集を掲載し防災啓発を実施。200人の学習者、80人のボランティアに参加してもらいました。

＜地域・合築施設連携＞として

- ・「ワクワクまつり」はラウンジの一大イベントとして10月12日に大豆戸地域ケアプラザ共催で行われ、「世界のファッションショー」、「日本語学習者による日本語スピーチ、演奏、歌など」、「ニューカマー子どもの教室生徒の絵日記」、「ミニ外国語体験」、「書道で遊ぼう」、「異文化体験ワークショップ」、「やさしい日本語防災かるた&クイズラリー」などを実施し、来場者も約1,300名となり各方面から好評をいただきました。
- ・ケアプラザ施設貸室の利用により交流イベント3回、多文化ママカフェ11回開催することが出来ました。
- ・1月には伝統文化教室の茶道講師が、大豆戸地域ケアプラザにて「カモメの会」初釜イベントに協力しました。
- ・「2025ふるさと港北ふれあいまつり」は11月8日に開催され、民族衣装試着体験などを実施し、GREEN×EXP02027もPRしました。外国人学習者によるじゃんけん大会も好評を得、約320名のブース来場者で賑わいました。

- ・港北区区民活動支援センター企画に参画。「外国人住民の声から学ぶ港北の今」をテーマに、「港北国際交流ラウンジ 25 年のあゆみ」として 25 周年記念イベントになり 30 名の参加者がありました。

<デジタル化、ペーパーレス化促進>は個人情報セキュリティ強化の視点からも業務システム N I コラボを、業務効率向上の視点からも労務管理システム P C A システムを導入実装しました。

2. 事業計画内容

各種事業の企画実施

(1) 施設の運営に関すること (窓口) (委託事業)

- [ア] ラウンジ運営に必要な書類や備品の管理
- [イ] 区政・市政情報の提供
- [ウ] 関係機関からの照会事項への協力及び回答等
- [エ] 利用者人数や相談件数等、委託者が求める統計に関すること
- [オ] 区が行う事業等において、区からの協力要請等に基づくこと
- [カ] 区民や利用者のニーズ把握及び課題解決策の考案

随時、利用者の意見を聞く機会を設けるとともに、国際交流イベント等の機会を利用しアンケートを実施するなど、利用者に限らない区民等のニーズも把握するよう工夫すること。また、把握したニーズを事業の企画・実施に反映すること

- [キ] ラウンジ業務の全体調整
- [ク] 区や学校、区内公共施設等との連携
- [ケ] 地域のボランティアや支援団体等との連絡調整

上記 [ア] ~ [ケ] については、全て下記の通り行う

内 容 : [ア] ~ [ケ]

日 時 : 随時

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 20 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

(2) 人材の育成・支援に関すること (委託事業)

[ア] 窓口サービス向上のための人材育成 (窓口)

内 容 : 相談対応力育成、ITリテラシー研修

日 時 : 通年

回 数 : 3 回

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 20 人

受益対象者 : 窓口スタッフ

支 出 額 : 66,225 円 (スタッフ人件費)

※ 外部講師料 (1回分) は防災にて計上

[イ] 「横浜市通訳ボランティア派遣制度」に関わる事業 (窓口)

内 容 : 市、区役所、保健所、学校などからの通訳ボランティア派遣依頼
のマッチング、調整、ボランティア人材の新規募集・登録

対応言語 : 英語、中国語、ネパール語、ベトナム語、スペイン語、タガログ
語、ロシア語、タイ語、ポルトガル語、ヒンディー語

日 時 : 随時

場 所 : 小中学校、区役所 など

従事者人員 : 17 人

件 数 : 176 件

受益対象者 : 港北区在住外国人

支 出 額 : 223,606 円 (スタッフ人件費、交通費)

[ウ] 「母語支援ボランティア活用事業」に関わる事業 (窓口)

[ウ-1] 母語支援ボランティア募集・登録・マッチングなど

内 容 : 来日して間もない児童・生徒に対する学校での初期適応支援・
学習支援ボランティアの派遣依頼のマッチング、調整、新規募
集・登録、その他

対応言語 : 英語、中国語、ミャンマー語、ネパール語等

日 時 : 随時

場 所 : 小中学校 など

件 数 : 39 件

従事者人員 : 17 人

受益対象者 : 港北区在住外国人

支 出 額 : 47,775 円 (スタッフ人件費)

[ウ-2] 母語支援ボランティア座談会の開催

内 容 : 初期適応支援・学習支援ボランティアの登録者を対象とし
情報交換・研修を目的とした座談会を開催

日 時 : 3月28日

場 所 : 港北国際交流ラウンジ 研修室

ボランティア出席者数 : 22 人

従事者人員 : 6 人

受益対象者 : 語学ボランティア登録者

支 出 額 : 30,221 円 (講師料、イベント費等)

[エ] イ・ウ以外のボランティアに関する要望に対する対応や、日本語教育ボランティアの育成・支援など

[エ-1] 日本語教育ボランティアの養成 (日本語教室)

[エ-1-1] 日本語ボランティア養成講座事業

内 容 : 外国人への日本語学習支援・指導ができるように日本語教育ボランティアを養成

日 時 : 10 月 ~ 12 月

場 所 : 主たる事業所

回 数 : クラス 5 回、 修了者 : 25 名

従事者人員 : 9 人

受益対象者 : 港北区民

委託事業支出額 : 219,494 円 (講師料、印刷製本費等)

教室運営収入額 : 137,500 円

[エ-1-2] 日本語ブラッシュアップ講座事業

内 容 : 外国人への日本語学習支援・指導向上の為の日本語教育ボランティア教育講座を開講

日 時 : 通年

回 数 : 2 回 (日数は 2 回×1 日)

場 所 : 主たる事業所

ボランティア出席者人数 : 66 人 (第1回 41 名, 第2回 25 名)

従事者人員 : 9 人

受益対象者 : 日本語教室ボランティア

支 出 額 : 58,122 円 (講師料、交通費等)

[エ-2] 永年活動表彰

内 容 : 年に一度「ワクワクまつり」開催時、20年並びに10年継続して活動していただいたボランティアを表彰し記念品を授与

日 時 : 10月12日 ワクワクまつり開会前に実施

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 11 人

受益対象者 : 港北区他住民

表彰対象者 : 20周年 1 名 10周年 10 名

支 出 額 : 45,684 円

〔オ〕 市や他施設の人材育成事業への協力

〔オ-1〕 国際教室担当者と国際交流ラウンジの情報交換会開催の協力

内 容 : 横浜市教育委員会の日本語支援アドバイザーからの依頼で、国際教室担当教諭の研修に協力。国際交流ラウンジの取組や学習支援活動を説明し今後の連携に繋げようとするもの。

日 時 : 11月26日

場 所 : 港北国際交流ラウンジ 研修室

従事者人員 : 4 人

受益対象者 : 横浜市立学校 国際教室担当教諭 (9名)

〔オ-2〕 菊名地区社会福祉協議会の福祉講座開催の協力

内 容 : 菊名地区社会福祉協議会の依頼で、外国人住民の現状や困りごと、国際交流ラウンジの事業紹介にスピーカー（窓口スタッフ、日本語ボランティア）派遣

日 時 : 2月21日

場 所 : 大豆戸地域ケアプラザ 多目的ホール

従事者人員 : 4 人

受益対象者 : 港北区他地域住民 (20名)

(3) 情報提供・相談業務に関すること

〔ア〕 「やさしい日本語」や多言語による窓口での相談・情報提供（窓口）

(委託事業)

内 容 : 在住外国人の方々の生活及びその他の相談への情報提供と支援。日本語（必要に応じて「やさしい日本語」）・英語・中国語・韓国語・ベトナム語による窓口相談対応。それ以外の言語については YOKE「横浜市多文化共生総合相談センター」との提携による通訳相談業務。

日 時 : 英語・日本語：毎日、韓国語：木曜午前、中国語：金曜午前
ベトナム語：火曜午前（4～10月）、土曜午前（3月）、

件 数 : 800 件

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 17 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

[イ] 各種情報の収集・提供 (窓口) (委託事業)

日 時 : 随時
場 所 : 主たる事業所
従事者人員 : 20 人
受益対象者 : 港北区他在住外国人

[ウ] 情報発信・広報活動

[ウー1] 広報・情報誌発行事業 (情報広報) (自主事業)

内 容 : 前年度に引き続き、多文化共生の観点で、広報誌「そよ風」等の更なる充実を図るべく情報収集と共にラウンジの活動内容を広く市民および在住外国人に知って頂き、互いの文化を理解するために役立つ情報を発信する。また、外国人、近隣住民などの利用促進につながるような情報や、在住外国人の生活に役に立つ情報を発信していく。

日 時 : 年 5 回 広報誌の発行
場 所 : 主たる事業所
従事者人員 : 7 人
受益対象者 : 港北区他地域住民と在住外国人
支 出 額 : (委託会計) 20,262 円 (自主会計) 140,379 円

[ウー2] ホームページ、SNS 等作成・更新事業 (窓口) (委託事業)

内 容 : ホームページ・Facebook・Instagram 作成等の事業、各種言語によるラウンジの活動紹介、情報提供 (日本語、英語、中国語、ベトナム語、韓国語)

日 時 : 随時
回 数 : 約 520 回
(ホームページ 290 回、Facebook60 回、Instagram170 回)
場 所 : 主たる事業所
従事者人員 : 8 人
受益対象者 : 港北区他地域住民と在住外国人
支 出 額 : 17,380 円 (プロバイダー使用料)

[エ] 在住外国人への防災関連事業 (窓口) (委託事業)

内 容 : 地域の在住外国人の防災に関する知己を深めるための普及啓発活動
・港北区役所地域防災担当によるセミナー 日本語教室 3 クラス
学習者 95 名 ボランティア 110 名
・ワクワクまつりでの防災ブース設置 ブース来訪者 43 名

- ・機関紙「そよ風」防災特集 発刊数 1800 部
- ・外国人用「おくすり手帳」配布 56 部
- ・NHK 国際放送局作成防災アプリ 周知セミナー参加者 42 名
- ・港北区役所地域防災担当作成「防災ちらし」を教材に活用 142 名

日 時 : 随時
 回 数 : 18 回以上
 場 所 : 主たる事業所
 従事者人員 : 20 人
 受益対象者 : 港北区他地域住民と在住外国人
 支 出 額 : 199,070 円

(4) 各種事業の企画・実施

[ア] 日本人の多言語理解に関する事業 (窓口)

内 容 : 通年6講座 + 短期講座1講座
「英語でコミュニケーション(初級)火・金」
「フランス文化と言葉を学ぼう(入門)」
「スペイン語で交流してみよう(入門)」
「イタリア文化と言葉を学ぼう(入門)」
「英語で学ぶ教養(中級)」
 + 短期「夏休み小学生英会話教室」

学習者人数 : 前期 84 人、後期 68 人、短期 15 人

日 時 : 教室全授業回数 198 回 + 5 回
 場 所 : 主たる事業所
 従事者人員 : 5 人 (委託)
 受益対象者 : 港北区民他
 支 出 額 : 249,000 円 (スタッフ人件費)

自主事業支出額 : 1,864,306 円

自主事業収入額 : 3,803,000 円

[イ] 多文化共生と国際相互理解に関する事業 (委託事業)

(ア) 外国人市民と日本人市民が交流できる機会の提供

(ア-1) スポーツ、音楽、食等の交流及び在住外国人による異文化紹介

(交流企画)

内 容 : 交流イベント(ワークショップ、演奏会等)
 日 時 : 年 5 回、6 月、8 月、11 月、12 月、2 月
 場 所 : 主たる事業所

参加者数 : 242 人
従業者人員 : 15 人
受益対象者 : 港北区民他
支出額 : 150,993 円
イベント運営収入額 : 37,900 円

(ア-2) 多文化ママカフェ (国際理解)

内 容 : 子育て中の外国人親子の交流・情報提供の場
日 時 : 4月～翌3月 年間計 22 回
参加者数 : 平均 6 組
場 所 : 主たる事業所
従業者人員 : 5 人
受益対象者 : 港北区他在住外国人
支出額 : 17,731 円

(イ) 外国人市民・日本人市民を対象の異文化理解の機会の提供

(イ-1) 外国人市民向けの日本伝統文化体験教室 (交流企画)

内 容 : 日本伝統文化 (華道、茶道、書道) を通じて国際交流を図る
華道教室 3 回/年間
茶道教室 3 回/年間
書道教室 3 回/年間
計 教室 9 回/年間
日 時 : 4月,5月,6月,7月,9月,10月,11月,1月,2月
場 所 : 主たる事業所
参加者数 : 73 人 (外国人 42 名、日本人 31 名)
従事者人員 : 10 人
受益対象者 : 港北区他在住外国人
支出額 : 111,079 円
教室運営収入額 : 19,900 円

(イ-2) 異文化理解の機会 (国際理解教室事業) (国際理解)

内容 (時期) ・参加者数 :

「ハローワールド」 (多文化共生と異文化理解を考えるイベント)

もっと知ろう! フラメンコ (6月) 14 人

韓国の夏の思い出 (7月) 12 人

ミャンマーを知りたい (9月) 32 人

ドイツのクリスマス(12月) 31人
アフリカンミュージックライブ(2月) 25人
ルーマニアってどんな国(3月) 23人
「小学生のための国際理解教室」(3月) 12人
回数 : 年間 6回 + 1回
場所 : 主たる事業所
参加者数 : 149人
従事者人員 : 7人
受益対象者 : 港北区民
支出額 : 82,187円
収入額 : 57,300円

(イ-3) 学校への出張授業等

内容 : 地域の子どもたちに異文化理解の機会提供。近隣の小中学校での
国際理解授業への協力。
日時 : 9月、2月
場所 : 綱島小学校(9月)、菊名小学校(3月)
従事者人員 : 6人

(イ-4) 学校等からの実習等の受け入れ

内容 : 中学校職場体験等 生徒・学生の受け入れ
日時 : 1月
場所 : 主たる事業所
従事者人員 : 6人

[ウ] 外国人支援に関する事業 (委託・自主事業)

(ア-1) 外国人市民を対象とした日本語学習支援事業 (日本語教室)

内容 : 在住外国人への日本語学習指導
学習者数 : 平均 18人/クラス、延べ 6,250人、49ヶ国
ボランティア数 : 参加平均/週 124人、延べ 4,664人
学習日数 : 338日 (平均 37日/クラス)
日時 : 毎週 (日・月・火・火夜・木・木夜・金・土・水曜サテライト)
場所 : 主たる事業所、日吉地区センター
従事者人員 : 177人
受益対象者 : 港北区他在住外国人
委託事業支出額 : 1,152,352円 (スタッフ人件費、図書費等)
自主事業支出額 802,420円 教室運営収入額 854,600円

(ア-2) 日本語専門講座事業 (日本語教室) (自主事業)

※実施無し。来年度以降も実施しない。

(イ) 日本語教室の情報交換・課題共有等のための各クラス代表者による連絡会

日 時 : 毎月第3日曜日 年間 10 回

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 20 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人

委託事業支出額 : 73,710 円 (交通費)

(ウ) 日本語を母語としない児童・生徒を対象とした学習支援事業

(ウ-1) ニューカマー子どもの教室 (委託事業)

内 容 : 重点目標として

- ・学校外でも学習する習慣を身につける ・読書奨励
- ・漢字や計算など基礎学習の充実 ・高校受験対策強化
- ・学校や保護者との連携

学習者人数 : 平均 16 人

学習支援回数 : 39 回

日 時 : 毎週 (土)

場 所 : 主たる事業所

従事者人員 : 19 人

受益対象者 : 港北区他在住外国人の子ども

支 出 額 : 110,088 円

(ウ-2) 学生ボランティアによる「夏休み／冬休み宿題教室」「にちよう教室」

内 容 : 学生ボランティアが外国につながる小中学生に勉強を教え、子どもたちの居場所づくりを目指す「夏休み／冬休みの宿題教室」並びに「にちよう教室」の実施

日 時 : 夏休み 3 回 (8月)、冬休み 2 回 (12月)、にちよう教室 16 回

場 所 : 主たる事業所

受益対象者 : 港北区近隣在住の外国人住民の小中学生

支 出 額 : 77,036 円

(エ) 外国につながる子どもと保護者を対象とした日本の小学校に関する相談会

内 容 : 2026年4月に小学校入学予定のお子さんとその家族、または未就学の子どもを持ち日本の小学校のことを知りたい外国人家族 (すで

に子供が就学しているが日本の小学校のことがわからない方も参加可)を対象に、日本の小学校について案内。

日 時：3月1日

参加者人数：26名

従業者人員：4人

受益対象者：港北区他在住外国人、

〔エ〕 広く区民を対象とした国際交流事業

ワクワクまつり（大豆戸地域ケアプラザ共催）（窓口）

内 容：年に一度の「ワクワクまつり」開催。日本語スピーチ、ミニ外国語体験、世界のファッションショー、外国につながる子どもの絵日記展示、書道で遊ぼう！、異文化体験ワークショップ、やさしい日本語防災かるた、やさしい日本語防災クイズラリーなど。チラシは横浜デジタルアーツ専門学校に依頼し学生がデザインを作成。

日 時：年1回、10月12日（日）

場 所：主たる事業所

従業者人員：100人

受益対象者：港北区他在住外国人、

支 出 額： 167,172円

(5) 地域及び近隣施設、合築施設等との連携事業（委託事業）

〔ア〕 広く区民対象の国際交流事業（窓口）（委託事業）

内 容：「ふるさと港北ふれあいまつり」への参加による国際交流

日 時：年1回 11月8日（土）

場 所：横浜アリーナ

従事者人員：14人

受益対象者：港北区民及び在住外国人

支 出 額： 34,818円

〔イ〕 大豆戸地域ケアプラザとの協力、調整

〔イ-1〕 ケアプラザ事業への協力

内 容：「カモメの会」のイベント「新春初釜（茶道）」への協力

日 時：年1回 1月20日

場 所：大豆戸地域ケアプラザ

従事者人員：3名

受益対象者：ケアプラザ利用者

〔イー２〕 ケアプラザ施設の利用

内 容：大豆戸地域ケアプラザの貸室にて交流イベントや多文化ママカフェを実施。（年間優先利用）

日 時：交流イベント 年 3 回 多文化ママカフェ 年 11 回

※その他、随時、協力・調整を行う

〔ウ〕 港北区区民活動支援センターとの協力

内 容：「第1回 港北地域学講座」の開催に協力

テーマ「外国人住民の声から学ぶ港北の今

～港北国際交流ラウンジ25年のあゆみ～

スタッフとボランティアがスピーカー・ファシリテーターとして参加

日 時：11月22日(土)

(6) その他 国際相互理解や国際交流、多文化共生に資するために必要な事業

(委託事業)

〔ア〕 多文化共生について考え実践する機会の提供 (国際理解)

内 容：「夏休み宿題教室」学生ボランティア説明・研修会
「冬休み宿題教室」学生ボランティア説明・研修会

日 時：年 2 回 (8月3日・12月21日)

場 所：主たる事業所

従事者人員：4人

受益対象者：横浜市在学の大学生・高校生、港北区民

支 出 額：4,000円

〔イ〕 「やさしい日本語」の普及

内容(実施日)：下記の機会に「やさしい日本語研修」を実施。

・夏休み宿題教室の大学生高校生ボランティア説明会(8/3)

・「港北地域学講座」(11/22)

・中学校の職場体験(1/22)

受益対象者：港北区民

(7) ラウンジ運営や事業実施に於けるデジタル化・ペーパーレス化促進に関する事業

(委託・自主事業)

内 容 : 給与計算・税務計算システム導入
日 時 : 2026年1月
場 所 : 主たる事業所